

第81号

平成31年
3月
発行

足尾砂防通信

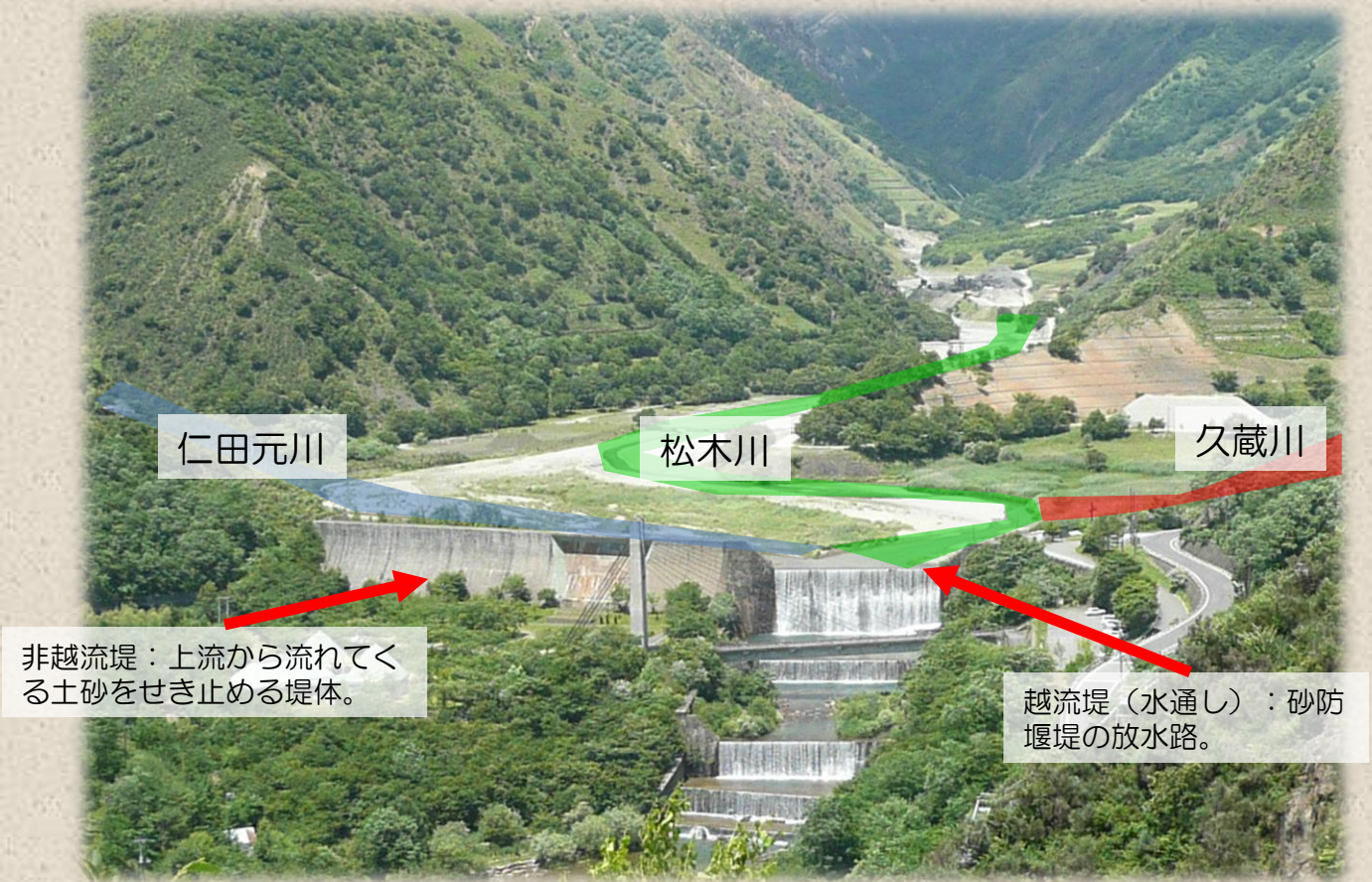
発行

国土交通省
関東地方整備局
渡良瀬川河川事務所
足尾砂防出張所

足尾砂防ヒストリー

第2回 足尾砂防堰堤①

足尾の方々の身近にある「足尾砂防」はどのような経緯で施工され、どのような効果をもたらすのかを説明する足尾砂防ヒストリー。第2回から紹介する工事は「足尾砂防堰堤」。銅親水公園にそびえ立つ本堰堤は昭和30年に完成し、60年以上「足尾砂防」の中心として運用されています。



Q. 砂防堰堤とは？

土石流など上流から流れ出る土砂を受け止め、貯まった土砂を少しずつ流すことにより下流に流れる土砂の量を調節する施設です。土砂が砂防堰堤にたまることで川の勾配が緩やかになり、川底や河岸が削られていくのを防ぐとともに、土石流の破壊力を弱めます。

また、両岸の山すそを固定し、山の斜面の崩れを防ぐ働きもあります。

Q. 足尾砂防堰堤とは？

栃木県と群馬県の県境にある、標高2,144mの皇海山より流れる松木川や仁田元川、久蔵川の三川が合流する箇所に存する砂防堰堤です。（別名三川合流ダムとも呼ばれます）昭和30年に完成した本堰堤は高さ39m、堰堤長204.4m、貯砂量は500万 m^3 と東京ドーム4杯分の土砂を貯めることができる日本最大規模の堰堤です。平成初期に行われた第5次工事では、足尾焼の陶板約2,000枚で描かれた二ホンカモシカの大きな壁画がお披露目されました。

第3回は足尾砂防堰堤の着工当時の姿を紹介します

足尾管内工事が砂防関係工事安全施工研究発表会最優秀賞を受賞



先月号でお知らせしました、第20回『砂防関係工事安全施工研究発表会』が去る2月4日に関東地方整備局に於いて開催され、管内砂防関係4事務所からの代表及び茨城県、栃木県、長野県から各工事受注者により、工事現場で取り組んでいる安全対策に関する発表を行いました。発表会には、工事受注者を中心に約200人が参加し、熱心に耳を傾けていました。

また、渡良瀬川河川事務所代表である中村土建(株)現場代理人の菊地氏が発表した「H29久蔵口山腹基礎工事」においては、先進的な対策を現場で実践したことなどが評価され、当発表会においても最優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。これを契機により一層の安全管理を行い、受発注者一体となり無事故・無災害で工事を完成させるべく、努めていきたいと思っております。

第24回「春の植樹デー」の日程が決まりました



今年も毎年恒例の「春の植樹デー」が開催されます。昨年は約2000人の方々にご参加頂き、足尾の山々に植樹をして頂きました。今年も多くの方々のご参加をお待ちしております。

日程：平成31年4月27日(土) 28日(日)
午前9:30~13:00

場所：銅親水公園

詳細：NPO法人「足尾に緑を育てる会」
0288-93-2180

【足尾砂防出張所管内における現在施工中の工事】

※H31.2.21時点の情報です。

No.	工事名	施工場所	工期	施工業者
1	H29松木川一号砂防堰堤改築工事	松木	H29.11.18 ~ H32.3.27	(株)浜屋組
2	H29久蔵口山腹基礎工事	久蔵	H30.4.1 ~ H31.3.29	中村土建(株)

《 工事関係車両の通行等により、ご迷惑をおかけしますがご協力お願い致します。 》

発行：国土交通省 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所
〒321-1513 栃木県日光市足尾町向原5-17
TEL 0288-93-2151 fax 0288-93-4087
渡良瀬川河川事務所ホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

